

「水の生き物いっぱい!!」

松尾 優那 (まつお ゆうな) 6歳

千鶴幼稚園 (備後教区)

この園では、生き物に興味を持ち、その命を大切にすることを育てるために、水辺の生き物を持ち寄って、観察したり触れたり調べたりする「めだかの学校」という活動にとりくんでいます。子どもたちが自由に関わられるよう環境を工夫し、友達と感じたことや気づいたことを話し合い、共有する時間を大切に、その思いを表現する描画活動へと展開されました。作品としての完成度ではなく、生き物への愛情が表現されることを大切にしていることがわかります。

たくさんの水槽が積み重ねられ、その中にそれぞれ異なる水辺の生き物が描かれています。色とりどりの砂利や水草など細部まで丁寧に描かれており、生き物たちが元気でいてほしいという思いが込められています。生き物たちが笑顔で表現されていることから、優那さんの優しい気持ちも伝わります。見たり触れたりした体験を思い出しながら描く中で、水槽や生き物が増えていく喜びを感じ、完成後は嬉しそうに先生や友達に見せていたそうです。

●表紙のことば●



おおはし いさお
大橋 功

和歌山信愛大学